

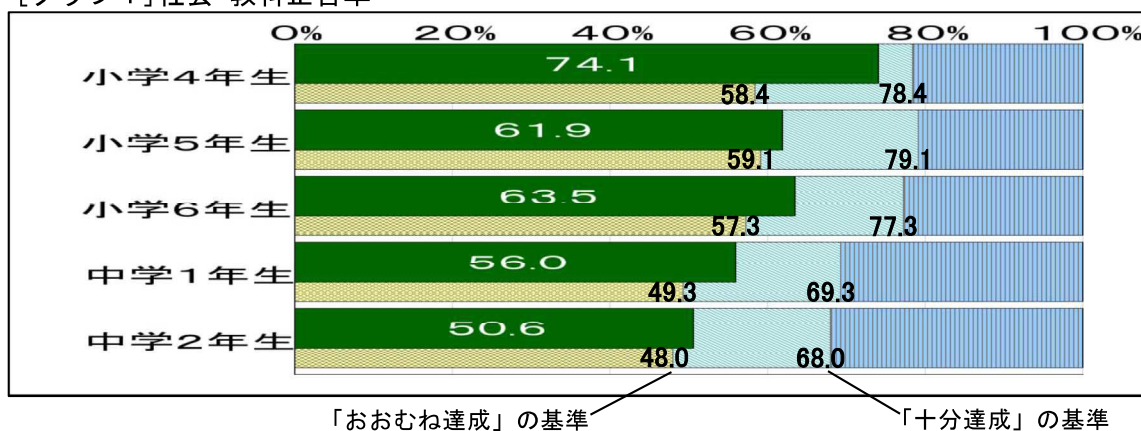
Ⅲ 教科ごとの調査結果とその分析

社 会

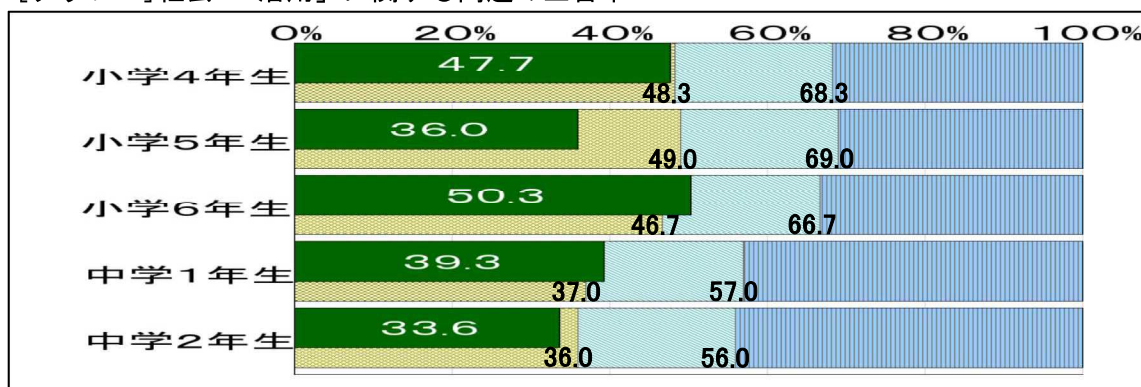
(1) 結果の概要

- 教科正答率は、小・中学校共に全ての学年で「おおむね達成」の基準を上回っている。
[グラフ1]
- 「活用」に関する問題については、小学4年生と小学5年生、中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ2]
- 観点別に見ると、小学4年生と小学6年生、中学1年生は、全ての観点で「おおむね達成」の基準を上回っている。「観察・資料活用（資料活用）の技能」「社会的事象についての知識・理解」については、小・中学校共に全ての学年で「おおむね達成」の基準を上回っている。特に、「社会的事象についての知識・理解」については、小学4年生で「十分達成」の基準を上回っている。「社会的な思考・判断・表現」については、小学5年生と中学2年生で「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ3～5]
- 内容・領域別に見ると、小学4年生の「地域の生産や販売」「安全を守る」、中学1年生の「世界の生活と環境」については、「十分達成」の基準を上回っている。小学5年生の「国土の様子」「食料生産の様子」、小学6年生の「工業の様子（5年の学習内容）」、中学1年生の「歴史の捉え方」、中学2年生の「世界の諸地域」「中世」については、「おおむね達成」の基準を下回っている。[グラフ6～10]

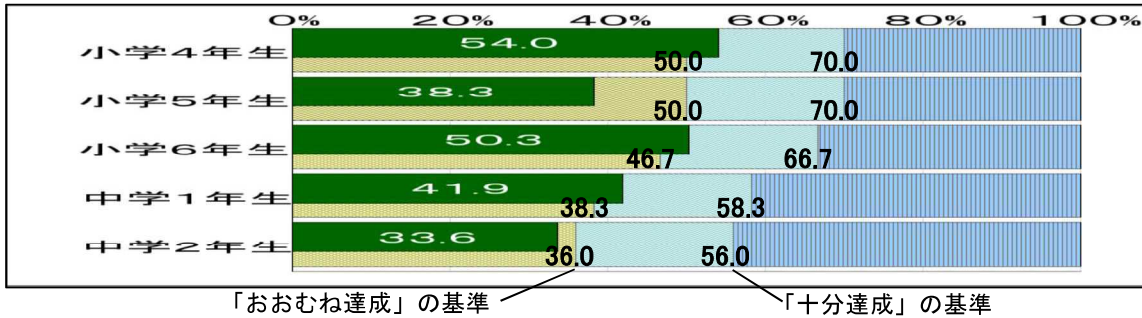
[グラフ1]社会 教科正答率



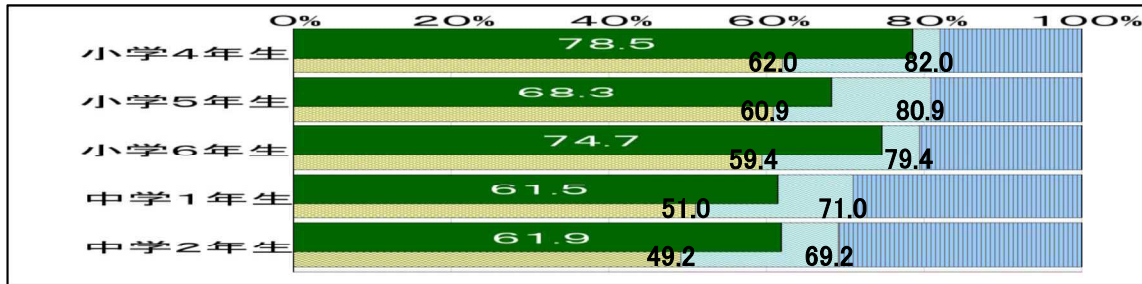
[グラフ2]社会 「活用」に関する問題の正答率



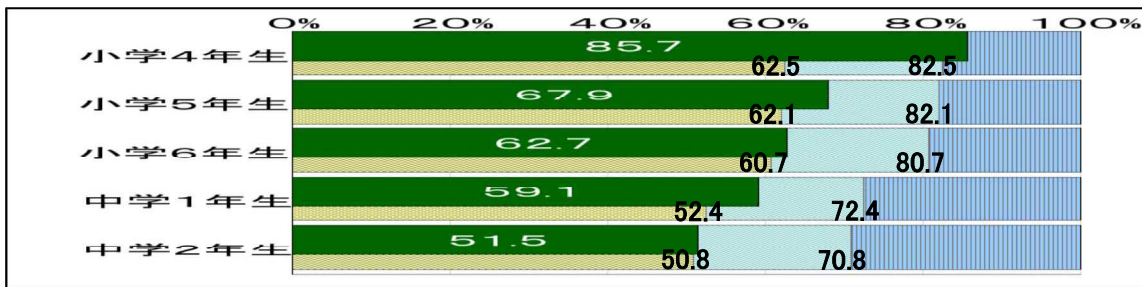
[グラフ3]社会「社会的な思考・判断・表現」観点の正答率



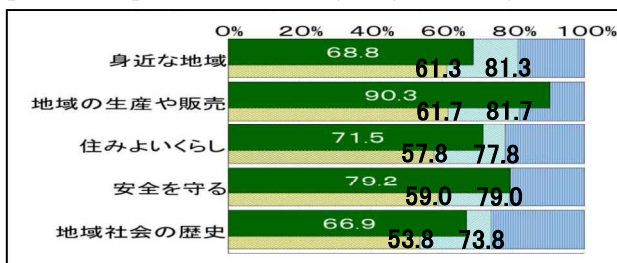
[グラフ4]社会「観察・資料活用（資料活用）の技能」観点の正答率



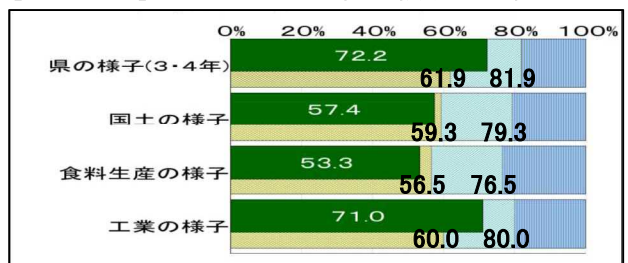
[グラフ5]社会「社会的事象についての知識・理解」観点の正答率



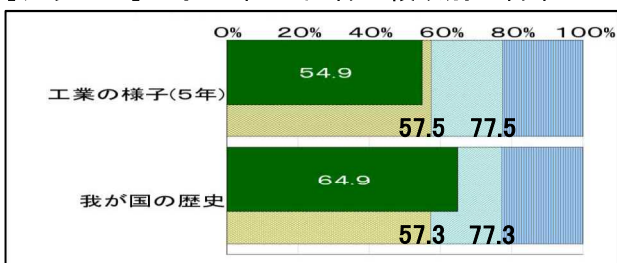
[グラフ6]小学4年生 内容・領域別正答率



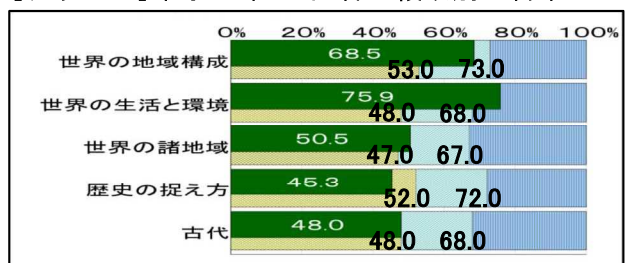
[グラフ7]小学5年生 内容・領域別正答率



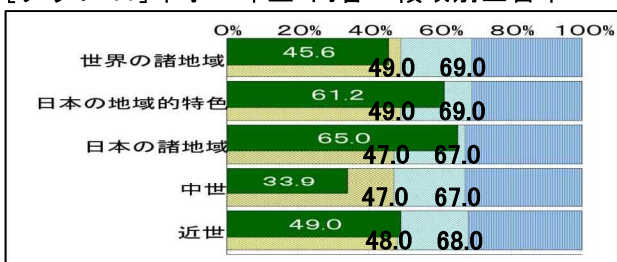
[グラフ8]小学6年生 内容・領域別正答率



[グラフ9]中学1年生 内容・領域別正答率



[グラフ10]中学2年生 内容・領域別正答率



※ [グラフ7]の「県の様子(3・4年)」という表記は、第3・4学年で学習する内容であることを示している。

※ [グラフ8]の「工業の様子(5年)」という表記は、第5学年で学習する内容であることを示している。

(2) 成果と課題及び指導改善のポイント


小学校社会（小学4年生、小学5年生、小学6年生）

成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 県の様子や住みよいくらしなどの地域社会に関する知識が身に付いている。
(小学4年生³₂⁵₁)、小学5年生¹₁)
- ◇ 資料から必要な情報を読み取ったり、適切な資料を選択したりする技能が身に付いている。
(小学4年生²₁²)、小学6年生⁸₂)
- ◆ 1 資料から読み取った情報を基に、気付きや疑問をもち、学習のめあて(学習問題)を考えることに一部課題が見られる。
(小学4年生³₁)、小学5年生⁴₂)
- ◆ 2 複数の資料から読み取った情報を基に、考えたことを表現することに課題が見られる。
(小学4年生⁵₄)、小学5年生³₃⁶₂)
- ◆ 3 国土や産業、歴史上の主な事象に関する知識の習得に課題が見られる。
(小学5年生²₂⁴)、小学校6年生¹₂³₃)

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆ 1 資料から読み取った情報を基に、気付きや疑問をもち、学習のめあて(学習問題)を考える力を育成するためには、「課題をつかむ」過程において、次のような指導を行うことが大切です。
 - 児童にとって身近な資料や児童が疑問をもちような資料を提示していますか。
 - 児童から疑問や予想を引き出すために、資料の提示の仕方を工夫していますか。
 - 児童の発言に対して、“ゆさぶる発問”をするなどして、児童の「もっと詳しく調べたい」というような意欲を高めるようにしていますか。
 - 児童の気付きや疑問を生かして学習のめあて(学習問題)をつくるようにしていますか。
- ◆ 2 資料から読み取った情報を基に、考えたことを表現する力を育成するためには、「調べる」過程において、次のような指導を行うことが大切です。
 - 「なぜ～だろうか?」「どうすればよい(よかった)のだろうか?」というような発問をして、グループや学級全体で話し合うときのテーマを設定していますか。
 - 児童が、自分の考えを書いたり、話したりするときに、「なぜなら・・・」「理由は・・・」などの言葉を使って、根拠となる事実を表現できるように指導していますか。
 - 児童の説明が不足しているときに、「なぜ～だったら～になるのですか?」といったような問い返しの発問をしていますか。
- ◆ 3 国土や産業、歴史上の主な事象に関する知識を習得させるためには、「調べる」過程や「考え・まとめる」過程において、次のような指導を行うことが大切です。
 - 「調べる」過程では、グループや学級全体で話し合う際に、学習した用語を使ったり、自分の言葉で説明したりできるように指導を行っていますか。
 - 「考え・まとめる」過程では、国土の様子や工業地域の分布などを図示したり、人物が行ったことをワークシートやカードにまとめたりする際に、学習した用語を使ったり、自分の言葉でまとめたりするように指導を行っていますか。

 他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください! → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

中学校社会（中学1年生、中学2年生）

成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 地理的分野において、社会的事象に関する基本的な知識が身に付いている。
(中学1年生①①③②①③、中学2年生②②①③①②③)
- ◇ 資料から適切な情報を読み取ったり、適切な資料を選択したりする技能が身に付いている。
(中学1年生②②⑤、中学2年生⑥①①②④)
- ◆ 1 歴史的分野において、歴史の捉え方や政治の経過の理解に課題が見られる。
(中学1年生④①②④⑤、中学2年生⑥②③)
- ◆ 2 歴史的分野において、社会的事象に関する基本的な知識の理解に課題が見られる。
(中学1年生⑤④⑥③、中学校2年生④①②③⑤①⑥②①②)
- ◆ 3 資料を基に、社会的事象の特色や事象間を関連付けて説明することや、社会的事象の意味や意義を解釈し理由を説明することに課題が見られる。
(中学1年生⑤③⑤、中学2年生③④④④⑤③)

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆ 1 歴史学習の基盤となる時代区分や年代の表し方、時代の流れを理解できるようにするためには、生徒が時代を大観することができるような指導を行うことが大切です。
 - 単元の導入等において、小学校で学習してきた歴史上の人物や出来事などの知識を想起させ、生徒が発表したりまとめたりしながら、時代ごとのイメージをもてるようにしていますか。
 - 時代ごとの学習に取り組む際も、ICT機器、ワークシートなどを活用して年表を提示することにより、時代の流れや前後の関連を確かめることができるようにするとともに、時代区分や年代の表し方などについても継続的・計画的に振り返らせていますか。
- ◆ 2 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識を習得させるためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 一問一答形式の小テストや重要語句を記憶しているかを確認するような発問を行うだけではなく、生徒が社会的事象の意味を考えたり、事象の特色や事象間の関連を説明したりするような発問を行ったり、活動を位置付けたりしていますか。
 - 単元や授業のまとめをする際に、生徒が、本単元や本時で学習したことや既習事項を用いて、自分の言葉で説明したり、ワークシートにまとめたりする活動を設定していますか。
- ◆ 3 資料から読み取った情報を基に、社会的事象の特色や事象間を関連付けて説明する力や、社会的事象の意味や意義を解釈し理由を説明する力を育成するためには、課題を追究したり解決したりする活動を授業に位置付けることが大切です。
 - 生徒が興味を示したり、疑問をもったりするような、社会的事象に関する具体的な事実を示す写真やグラフなどの資料を提示するなどして、生徒の関心を高めていますか。
 - 生徒の疑問や気付きから「なぜ～?」「どのように(な)～?」など、単元を通した課題を設定し、単元を通して、その課題を生徒が追究したり解決したりする活動を設定していますか。
 - 課題を追究したり解決したりする活動の中で、生徒が資料から読み取った情報を基に、理由を考えたり、自分の考えを説明したりするような活動を設定していますか。
 - 生徒が自分の考えを説明する際に、そのように考えた根拠を示したり、そのように考えた理由を述べたりすることができるように指導していますか。



他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

(3) 各学年の設問ごとの正答率

[表 1] 小学校 4 年生 社会 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,424	74.1	1.8	78.4	58.4	

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	身近な地域	4	68.8	1.9	81.3	61.3	
	地域の生産や販売	3	90.3	0.4	81.7	61.7	◎
	住みよいくらし	9	71.5	1.7	77.8	57.8	
	安全を守る	5	79.2	1.7	79.0	59.0	◎
	地域社会の歴史	4	66.9	2.8	73.8	53.8	
評価の観点	①思考・判断・表現	8	54.0	3.6	70.0	50.0	
	②技能	5	78.5	0.8	82.0	62.0	
	③知識・理解	12	85.7	1.0	82.5	62.5	◎
問題形式	選択式	9	86.2	0.6	82.2	62.2	◎
	短答式	9	79.3	1.4	81.7	61.7	
	記述式	7	51.9	3.7	69.3	49.3	
活用	「活用」に関する問題	6	47.7	4.0	68.3	48.3	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点	問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		身近な地域	地域の生産や販売	住みよいくらし	安全を守る	地域社会の歴史						①思考・判断・表現	②技能	
1	(1) 地図から、学校周辺の様子を読み取ることができる	○					○		69.2	0.3	85	65		
1	(2)ア 主な地図記号を理解している(警察署)	○					○		64.5	1.0	85	65	▼	
1	(2)イ 主な地図記号を理解している(消防署)	○					○		89.5	0.9	85	65	◎	
1	(3) 資料から必要な情報を読み取り、条件に合わせて説明することができる	○					○	○	51.9	5.5	70	50		
2	(1) 資料から、販売に関する仕事に見られる工夫や努力を読み取ることができる	○					○		90.0	0.3	85	65	◎	
2	(2) 資料から、品物の産地を読み取ることができる	○					○		95.8	0.6	80	60	◎	
2	(3) 様々な店の特徴を理解している	○					○		85.2	0.4	80	60	◎	
3	(1) 資料と発言の内容を基に、ごみの処理についての学習問題を考えることができる	○					○	○	51.0	2.5	70	50		
3	(2)① 清掃工場の仕組みを理解している(ごみピット)	○					○		94.1	0.4	85	65	◎	
3	(2)② 清掃工場の仕組みを理解している(焼却炉)	○					○		97.9	0.4	85	65	◎	
3	(3) ノートに示されているごみ削減の工夫を資料から読み取ることができる	○					○		85.4	0.5	80	60	◎	
3	(4) 資料を基に、ごみ収集の工夫について説明することができる	○					○	○	51.7	4.1	65	45		
4	(1) 森林の働きを理解している	○					○		65.2	2.0	80	60		
4	(2) 浄水場の働きを理解している	○					○		68.8	0.6	80	60		

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		身近な地域	地域の生産や販売	住みよいくらし	安全を守る	地域社会の歴史	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式				短答式	十分達成	
4	(3) 資料から、人口の変化と水の使用量の変化を読み取ることができる		○						○		52.1	2.2	80	60	▼	
4	(4) 学校や学級でできる節水の方法について考えることができる		○							○	77.3	2.4	75	55	◎	
5	(1) 資料1 人々の安全を守る警察の仕事を理解している			○					○		95.9	0.6	85	65	◎	
5	(1) 資料2 人々の安全を守る警察の仕事を理解している			○					○		94.7	0.6	85	65	◎	
5	(2) 110番に電話を掛けると、どこにつながるかを理解している			○					○		89.4	0.8	80	60	◎	
5	(3) 資料を基に、地域で行っている子供の安全を守るための工夫について考えることができる			○					○		68.7	2.2	75	55		
5	(4) 資料を基に、事故を防ぐための工夫について説明することができる			○						○	47.3	4.3	70	50	▼	
6	(1) 古くから残る暮らしに関わる道具を理解している(かまやかまど・そろばん)				○				○		97.1	0.9	80	60	◎	
6	(2) 昔と今の道具を示した資料を基に、人々の暮らしの変化について説明することができる				○					○	47.8	2.6	70	50	▼	
6	(3) 資料を基に、昔の人々の生活のよさについて考えることができる				○					○	36.5	4.8	65	45	▼	
6	(4) 地域の年中行事には、受け継がれている願いがあることを理解している				○				○		86.3	2.8	80	60	◎	

[表2] 小学校5年生 社会 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,283	61.9	3.3	79.1	59.1	

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	県の様子(3・4年)	8	72.2	0.9	81.9	61.9	
	国土の様子	7	57.4	3.8	79.3	59.3	▼
	食料生産の様子	10	53.3	5.4	76.5	56.5	▼
	工業の様子	4	71.0	2.1	80.0	60.0	
評価の観点	①思考・判断・表現	6	38.3	6.4	70.0	50.0	▼
	②技能	11	68.3	1.5	80.9	60.9	
	③知識・理解	12	67.9	3.4	82.1	62.1	
問題形式	選択式	12	71.8	0.7	80.8	60.8	
	短答式	11	65.7	4.2	82.3	62.3	
	記述式	6	35.3	7.0	70.0	50.0	▼
活用	「活用」に関する問題	5	36.0	7.3	69.0	49.0	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		県の様子(3・4年)	国土の様子	食料生産の様子	工業の様子	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
1	(1)	自分が通う小学校がある市や町の地理的な位置を理解している(※)	○				○		○			88.3	1.2	85	65	◎
1	(2)①	地図から、県内の特色ある地形の様子を読み取ることができる(有明海)	○				○		○			59.2	0.3	80	60	▼
1	(2)②	地図から、県内の特色ある地形の様子を読み取ることができる(背振山地)	○				○		○			85.5	0.3	80	60	◎
1	(2)③	地図から、県内の特色ある地形の様子を読み取ることができる(玄界灘)	○				○		○			68.8	0.4	80	60	
1	(2)④	地図から、県内の特色ある地形の様子を読み取ることができる(佐賀平野)	○				○		○			69.9	0.4	80	60	
1	(3)ア	地図から、佐賀県の周りの県を理解している(福岡県)	○				○		○			85.5	1.4	85	65	◎
1	(3)イ	地図から、佐賀県の周りの海を理解している(有明海)	○				○		○			66.3	2.6	85	65	
1	(4)	都道府県の名称と位置を理解している(鳥根県・高知県)	○				○		○			53.9	0.3	80	60	▼
2	(1)	世界の大陸の名称と位置を理解している(アフリカ大陸・南アメリカ大陸)	○				○		○			79.3	0.1	85	65	
2	(2)	経線と緯線を理解している	○				○		○			32.6	8.9	80	60	▼
2	(3)	地図から、日本の位置を読み取ることができる	○				○		○			75.1	2.6	80	60	
2	(4)	南鳥島と沖ノ鳥島が属する都道府県が東京都であることを理解している	○				○		○			48.7	5.3	80	60	▼
3	(1)	日本の気候の特色について理解している	○				○		○			75.9	0.3	80	60	
3	(2)	資料から、外国の川と比較した日本の川の特色について読み取ることができる	○				○		○			68.4	0.9	80	60	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		県の様子 (3・4年)	国土の様子	食料生産の様子	工業の様子	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
3	(3)	資料を基に、富山市で冬の降水量が多い理由について説明することができる	○					○		○	21.9	8.7	70	50	▼	
4	(1)	資料から、米作りが盛んな地域を読み取ることができる		○				○			74.2	0.3	80	60		
4	(2)	資料と発言の内容を基に、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きについての学習のめあてを考えることができる		○				○		○	25.4	7.4	70	50	▼	
4	(3)	新しい品種をつくり出すことが品種改良であることを理解している		○				○			58.9	8.5	80	60	▼	
4	(4)	資料から、生産調整が行なわれた理由について読み取ることができる		○				○			31.5	5.3	75	55	▼	
5	(1)	プランクトンや魚がよく集まるところが大陸棚であることを理解している		○				○			67.2	7.2	85	65		
5	(2)	資料から、日本近海の海流を読み取ることができる		○				○			69.5	2.6	85	65		
5	(3)	資料を基に、水産資源の保護を行っている理由について説明することができる		○				○		○	52.5	5.8	70	50		
6	(1)	資料から、国産の食料が外国産よりも値段が高いことを読み取ることができる		○				○			73.3	2.2	85	65		
6	(2)	資料を基に、食料を輸入に依存することで起こると考えられる問題点について説明することができる		○				○		○	27.0	5.9	70	50	▼	
6	(3)	資料を基に、循環型の農業の良い点について説明することができる		○				○		○	53.2	8.9	65	45		
7	(1)	資料から、自動車の生産過程を読み取ることができる		○				○			76.2	1.3	85	65		
7	(2)	自動車の組み立て工場と関わりを持つ工場が関連工場であることを理解している		○				○			77.6	3.4	80	60		
7	(3)	自動車を海外で現地生産していることを理解している		○				○			80.6	1.5	80	60	◎	
7	(4)	資料を基に、環境にやさしい自動車づくりについて考えることができる		○				○			49.6	2.0	75	55	▼	

[表3] 小学校6年生 社会 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,085	63.5	3.4	77.3	57.3	

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	工業の様子(5年)	4	54.9	2.7	77.5	57.5	▼
	我が国の歴史	24	64.9	3.5	77.3	57.3	
評価の観点	①思考・判断・表現	6	50.3	4.2	66.7	46.7	
	②技能	8	74.7	0.7	79.4	59.4	
	③知識・理解	14	62.7	4.6	80.7	60.7	
問題形式	選択式	12	70.6	0.4	80.4	60.4	
	短答式	8	61.4	6.7	80.6	60.6	
	記述式	8	54.8	4.5	69.4	49.4	
活用	「活用」に関する問題	6	50.3	4.2	66.7	46.7	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等			評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		工業の様子(5年)	我が国の歴史		①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				十分達成	おおむね達成	
1	(1) 工業地帯の位置と名称を理解している	○				○		○			37.5	0.3	80	60	▼
1	(2) 工業生産が盛んな地域が太平洋ベルト(地帯)であることを理解している	○				○		○			57.0	7.1	85	65	▼
1	(3) 資料から、中小工場と比較した大工場の特徴について読み取ることができる	○				○		○			75.4	0.6	80	60	
1	(4) 資料を基に、自動車工場と関連工場が海沿いに広がっている理由について説明することができる	○				○		○	○		49.7	3.0	65	45	
2	(1) 中大兄皇子と中臣鎌足が天皇中心の国づくりを目指したことを理解している	○				○		○			82.7	0.1	85	65	
2	(2) 資料を基に、天皇の力が全国に及んだことについて説明することができる	○				○		○	○		32.1	4.9	65	45	▼
2	(3) 源氏物語と枕草子の作者がそれぞれ紫式部と清少納言であることを理解している	○				○		○			74.9	0.2	80	60	
2	(4) 平安時代の文化を示す資料を選ぶことができる	○				○		○			71.0	0.2	80	60	
3	(1) 資料から、源氏と平氏の戦いの正しい順序を読み取ることができる	○				○		○			75.5	0.2	80	60	
3	(2) 御恩と奉公の内容を理解している	○				○		○			83.2	0.2	80	60	◎
3	(3) 元寇の時の幕府の執権が、北条時宗であることを理解している	○				○		○			38.8	8.4	80	60	▼
4	(1) 現在の和室の基になった建築様式が書院造であることを理解している	○				○		○			70.8	3.0	80	60	
4	(2) 水墨画を完成した人物が雪舟であることを理解している	○				○		○			71.0	7.5	80	60	
4	(3) 能の様子を示した資料を選ぶことができる	○				○		○			70.3	0.5	80	60	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		我が国の歴史	工業の様子(5年)	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式	記述式	十分達成	おおむね達成						
4	(4)	資料を基に、室町時代の文化の特色について説明することができる	○								○	○	75.9	2.0	70	50	◎
5	(1)	織田信長が行った商業政策を理解している	○					○					53.3	8.7	80	60	▼
5	(2)	検地を示す資料を選ぶことができる	○					○					56.9	0.3	80	60	▼
5	(3)	資料を基に、島原・天草一揆の後に、江戸幕府が調査を行った理由について説明することができる	○					○			○	○	36.0	7.4	65	45	▼
6	(1)	資料を基に、江戸時代から明治時代にかけて起こった生活や文化の変化が、鎖国が終わったことに起因していることを説明することができる	○					○				○	53.3	3.6	65	45	
6	(2)	資料から、明治の学校と今の学校の似ている点について読み取ることができる	○					○				○	83.4	2.3	75	55	◎
6	(3)	板垣退助が主張した自由民権運動を理解している	○					○			○		66.3	4.8	80	60	
6	(4)	富国強兵に関係する政策を示した資料を選ぶことができる	○					○			○		69.1	0.6	80	60	
7	(1)	野口英世の業績について理解している	○					○					90.0	0.5	80	60	◎
7	(2)	日露戦争で活躍した人物が東郷平八郎であることを理解している	○					○			○		44.9	14.0	80	60	▼
7	(3)	資料を基に、日露戦争終了後に人々が不満をもった理由について説明することができる	○					○			○	○	54.8	4.0	70	50	
8	(1)	戦時中に食料品や生活用品を配給したことが配給制(切符制)であることを理解している	○					○			○		67.0	8.1	80	60	
8	(2)	資料から、戦時中の国民の生活の様子を読み取ることができる	○					○			○		96.4	0.7	80	60	◎
8	(3)	終戦直前に、満州や樺太南部、千島列島にソビエト連邦(ソ連)が攻め込んできたことを理解している	○					○			○		40.1	1.2	80	60	▼

[表4] 中学校1年生 社会 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	6,989	56.0	5.8	69.3	49.3	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	世界の地域構成	5	68.5	1.5	73.0	53.0	
	世界の生活と環境	5	75.9	3.0	68.0	48.0	◎
	世界の諸地域	5	50.5	8.5	67.0	47.0	
	歴史の捉え方	5	45.3	4.7	72.0	52.0	▼
	古代	10	48.0	8.6	68.0	48.0	
評価の観点	①思考・判断・表現	6	41.9	13.3	58.3	38.3	
	②技能	5	61.5	0.8	71.0	51.0	
	③知識・理解	19	59.1	4.8	72.4	52.4	
問題形式	選択式	13	60.0	0.8	70.8	50.8	
	短答式	12	58.7	7.2	72.9	52.9	
	記述式	5	39.3	15.6	57.0	37.0	
活用	「活用」に関する問題	5	39.3	15.6	57.0	37.0	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点	問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		世界の地域構成	世界の生活と環境	世界の諸地域	歴史の捉え方	古代						①思考・判断・表現	②技能	
1	(1) インド洋の位置と名称を理解している	○						○		86.8	0.7	75	55	◎
1	(2) 資料に示された地点の緯度と経度を読み取ることができる	○						○		39.2	0.3	70	50	▼
1	(3) 世界で最も面積が大きい国がロシア連邦であることを理解している	○						○		82.7	1.4	75	55	◎
1	(4) 経度0度の経線が本初子午線であることを理解している	○						○		69.4	4.8	75	55	
1	(5) 中心からの距離と方位が正しく表されている地図の特徴を理解している	○						○		64.5	0.4	70	50	
2	(1) 冷帯(亜寒帯)の特徴を理解している	○						○		82.6	0.3	70	50	◎
2	(2) 資料から、東京の雨温図を読み取ることができる	○						○		82.8	0.3	75	55	◎
2	(3) 標高の高い地域に住む人々の生活の様子を理解している	○						○		91.5	0.4	70	50	◎
2	(4) 資料を基に、同じ熱帯でも植生が異なる理由を説明することができる	○						○	○	44.1	13.1	55	35	
2	(5) 資料から、世界の宗教の分布の特徴を読み取ることができる	○						○		78.7	0.7	70	50	◎
3	(1)① アルプス山脈とドナウ川の位置と名称を理解している		○					○		30.8	0.4	75	55	▼
3	(1)② 緯度が高いわりに年平均気温が高い理由が北大西洋海流と偏西風の影響であることを理解している		○					○		54.3	4.0	70	50	
3	(1)③ 資料を基に、地中海沿岸の国でワインの輸出が多い理由を、地中海性気候の特徴と関連付けて説明することができる		○					○	○	60.2	9.8	60	40	◎
3	(2)① ヨーロッパ諸国の人々が現地の人々を労働者として雇っていた大規模な農園がプランテーションであることを理解している		○					○		65.9	14.3	75	55	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		世界の地域構成	世界の生活と環境	世界の諸地域	歴史の捉え方	古代	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				記述式	十分達成	
3	(2)②				○						○	○	41.5	13.9	55	35	
4	(1)					○							32.3	12.4	75	55	▼
4	(2)					○							43.8	5.0	70	50	▼
4	(3)					○				○			68.8	0.6	70	50	
4	(4)					○					○		54.8	4.4	75	55	▼
4	(5)					○				○			26.6	0.9	70	50	▼
5	(1)						○			○			45.9	0.8	70	50	▼
5	(2)						○				○		69.1	12.4	75	55	
5	(3)						○				○	○	35.1	15.8	60	40	▼
5	(4)						○				○		18.1	10.3	70	50	▼
5	(5)						○				○	○	15.6	25.5	55	35	▼
6	(1)						○				○		72.9	7.6	70	50	◎
6	(2)						○				○		54.2	9.1	70	50	
6	(3)						○				○		52.9	1.4	75	55	▼
6	(4)						○				○		54.9	1.6	65	45	
6	(5)						○				○		61.1	1.8	70	50	

[表5] 中学校2年生 社会 出題の趣旨、問題形式、正答率等一覧

集計結果

※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,050	50.6	11.0	68.0	48.0	

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	世界の諸地域	5	45.6	7.3	69.0	49.0	▼
	日本の地域的特色	5	61.2	8.3	69.0	49.0	
	日本の諸地域	5	65.0	10.9	67.0	47.0	
	中世	5	33.9	12.5	67.0	47.0	▼
	近世	10	49.0	13.6	68.0	48.0	
評価の観点	①思考・判断・表現	5	33.6	16.2	56.0	36.0	▼
	②技能	6	61.9	2.1	69.2	49.2	
	③知識・理解	19	51.5	12.5	70.8	50.8	
問題形式	選択式	10	52.1	1.7	68.5	48.5	
	短答式	16	54.7	14.6	70.9	50.9	
	記述式	4	30.4	19.9	55.0	35.0	▼
活用	「活用」に関する問題	5	33.6	16.2	56.0	36.0	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点	問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		世界の諸地域	日本の地域的特色	日本の諸地域	中世	近世						①思考・判断・表現	②技能	
1	(1)①	ロッキー山脈の位置と名称を理解している	○					○		48.6	6.6	75	55	▼
1	(1)②	先端技術産業や情報技術産業の企業が集まる地域であるシリコンバレーを理解している	○					○		37.7	26.9	70	50	▼
1	(1)③	五大湖周辺の工業の特徴を理解している	○					○		38.3	0.9	70	50	▼
1	(2)	資料から、アメリカ合衆国の農業地域の特徴を読み取ることができる	○					○		56.6	1.1	70	50	
1	(3)	資料を基に、日本の農業と比べたアメリカ合衆国の農業の特徴を考察することができる	○					○	○	46.7	1.2	60	40	
2	(1)①	環太平洋造山帯を理解している	○					○		65.3	11.8	75	55	
2	(1)②	資料から、造山帯の特徴を読み取ることができる	○					○		61.8	3.8	70	50	
2	(2)①	電力の発電方法の1つである水力発電を理解している	○					○		87.5	2.6	75	55	◎
2	(2)②	資料を基に、考えられる火力発電の問題を、日本のエネルギー資源の輸入依存度と採年数とを関連付けて説明することができる	○					○	○	39.6	10.4	55	35	
2	(2)③	再生可能エネルギーの1つである地熱を理解している	○					○		51.8	12.9	70	50	
3	(1)	阿蘇山の位置と名称を理解している		○				○		78.3	9.6	70	50	◎
3	(2)	宮崎県の一部から鹿児島県の一部にかけて見られる火山灰土がシラスであることを理解している		○				○		83.1	9.9	70	50	◎
3	(3)	北九州市の環境への取組を理解している		○				○		72.0	12.8	70	50	◎
3	(4)	資料を基に、本州四国連絡橋や高速道路が自然災害時に迂回路として機能したことを説明することができる		○				○	○	33.6	20.5	55	35	▼

設問別集計結果

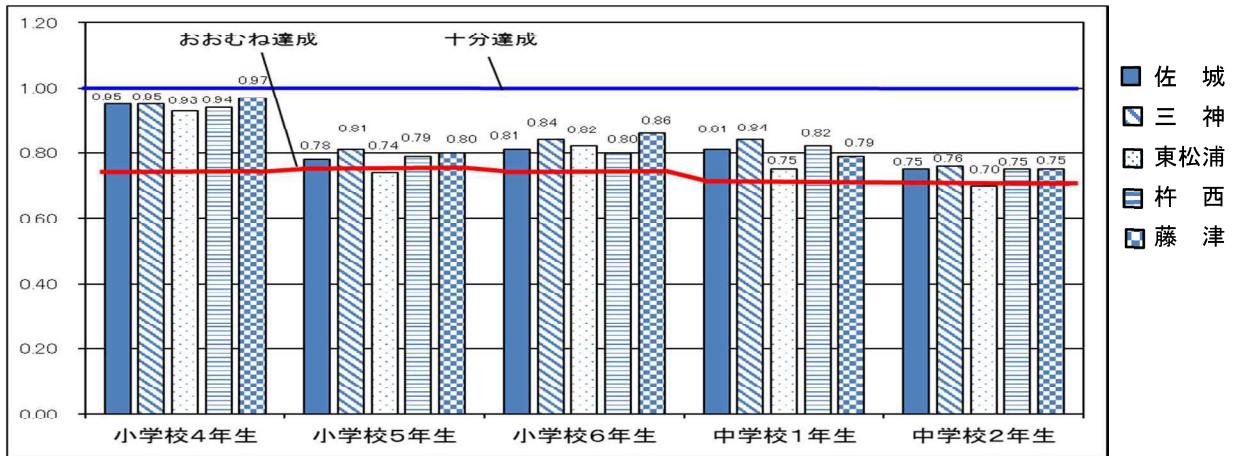
問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式			活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		世界の諸地域	日本の地域的特色	中世	近世	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式	記述式				十分達成	おおむね達成	
3	(5)	過疎化や過疎化が進んでいる地域に見られる特徴を理解している	○				○		○			58.0	1.7	70	50		
4	(1)①	将軍と御家人との関係が、御恩と奉公の関係であることを理解している		○			○		○			52.4	9.8	70	50		
4	(1)②	鎌倉時代の農民が荘園領主と地頭による二重支配を受けていたことを理解している		○			○		○			9.1	13.9	70	50	▼	
4	(2)	承久の乱の際、御家人に団結するように訴えた人物が北条政子であることを理解している		○			○		○			65.5	11.1	70	50		
4	(3)	室町時代の日本とその周辺の国や地域との関わりを理解している		○			○		○			24.7	1.7	70	50	▼	
4	(4)	資料を基に、応仁の乱後に戦国時代へと変化した理由を説明することができる		○			○		○	○		17.7	26.1	55	35	▼	
5	(1)	古代のギリシャやローマの文化を基にした新しい動きがルネサンスであることを理解している		○			○		○			32.0	33.0	70	50	▼	
5	(2)	資料から、大航海時代の新航路とその航海者との関係を読み取ることができる		○			○		○			48.5	1.6	65	45		
5	(3)	資料を基に、ポルトガルなどのヨーロッパの国々が、インドなどのアジアの国々への新航路を開拓しようとした目的を説明することができる		○			○		○	○		30.6	22.8	55	35	▼	
5	(4)	南蛮貿易を理解している		○			○		○			60.9	11.7	70	50		
6	(1)①	資料から、新田開発による耕地面積と石高の変化を読み取ることができる		○			○		○			75.1	1.9	70	50	◎	
6	(1)②	資料から、江戸時代の農業技術の発展により開発された農具の使い方を読み取ることができる		○			○		○			56.2	1.6	70	50		
6	(2)①	改革の内容から、寛政の改革を行ったのが松平定信であることを理解している		○			○		○			39.0	24.9	70	50	▼	
6	(2)②	公事方御定書を理解している		○			○		○			30.5	32.6	70	50	▼	
6	(2)③	江戸時代の政治の経過を理解している		○			○		○			43.9	3.3	70	50	▼	
6	(2)④	資料から、百姓一揆と打ちこわしの発生件数ととききんによる人口の増減との関わりを読み取ることができる		○			○		○			73.2	2.4	70	50	◎	

(4) 地域別の状況

- 県内5地域における学年別平均正答率の「十分達成」に対する状況は、小学校4年生と小学校6年生、中学校1年生で5地域とも「おおむね達成」の基準に達している。[グラフ11]
- 県内5地域における学年別平均正答率の対県比は[表6]のとおりで、中学校1年生で地域差が最も大きい。また、平成28年度12月調査と比べて小学校4年生と中学校2年生で地域差が縮小し、小学校5年生と小学校6年生、中学校1年生で地域差が拡大している。

[グラフ11] 県内5地域における学年別平均正答率の「十分達成」に対する状況

※ 各学年における「十分達成」の到達基準を1.00として算出



[表6] 県内5地域における学年別平均正答率の対県比

学年・教科	実施年度	対県比(地域平均正答率/県平均正答率)					地域差
		佐城	三神	東松浦	杵西	藤津	
小学校4年生 社会	H29[12月]	1.01	1.01	0.98	0.99	1.02	縮 0.04
	H28[12月]	1.01	1.00	0.97	1.00	1.02	0.05
小学校5年生 社会	H29[12月]	1.00	1.04	0.95	1.00	1.03	拡 0.09
	H28[12月]	1.00	1.03	0.98	0.99	1.00	0.05
小学校6年生 社会	H29[12月]	0.98	1.03	1.00	0.98	1.05	拡 0.07
	H28[12月]	1.00	0.98	0.99	1.01	1.02	0.04
中学校1年生 社会	H29[12月]	1.00	1.04	0.92	1.02	0.98	▲ 拡 0.12
	H28[12月]	0.99	1.03	0.94	1.03	1.03	0.09
中学校2年生 社会	H29[12月]	1.01	1.03	0.94	1.01	1.00	縮 0.09
	H28[12月]	0.99	1.05	0.90	1.02	1.06	▲ 0.16

※ 「対県比」は、県平均正答率を1.00として算出

※ 「地域差」は、対県比の最大値と最小値の差を表す

※ 「▲」は、地域差が0.10以上の教科を示す

※ 「縮」は、平成28年度[12月調査]より地域差が縮小した教科を、「拡」は拡大した教科を示す

※ 地域及び市町名

地域名	市町名
佐城	佐賀市、多久市、小城市
三神	鳥栖市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、みやき町、上峰町
東松浦	唐津市、玄海町
杵西	武雄市、伊万里市、白石町、大町町、江北町、有田町
藤津	鹿島市、嬉野市、太良町